

東北地方 1か月予報

(5月16日から6月15日までの天候見通し)

平成21年5月15日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

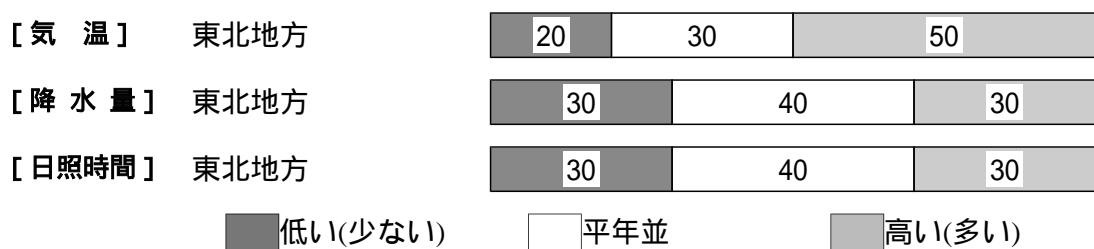
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

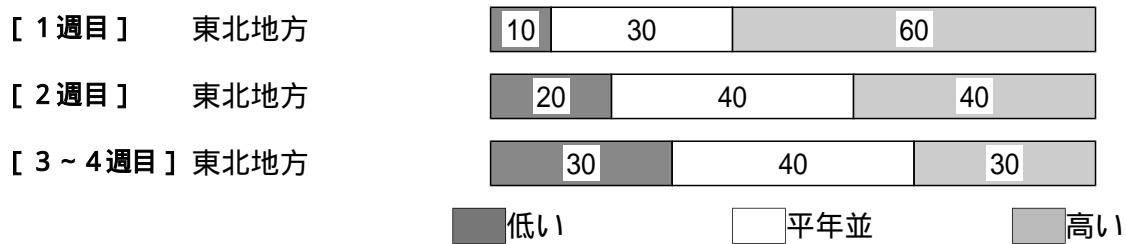
向こう1か月の平均気温は高い確率が50%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が60%、2週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月16日(土) ~ 6月15日(月)

1週目 : 5月16日(土) ~ 5月22日(金)

2週目 : 5月23日(土) ~ 5月29日(金)

3~4週目 : 5月30日(土) ~ 6月12日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は5月22日

3か月予報:5月25日(月) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	15.2	77.8	206.9	13.5	14.4	16.0
深浦	15.1	101.2	201.4	13.3	14.3	16.0
むつ	14.0	96.7	197.7	12.5	13.4	14.7
八戸	14.7	89.9	200.7	13.4	14.2	15.4
秋田	16.6	110.4	200.5	14.5	15.6	17.6
盛岡	16.2	99.3	186.6	14.2	15.3	17.1
大船渡	15.6	152.4	188.4	14.1	15.0	16.3
宮古	14.6	99.4	178.2	13.4	14.1	15.3
仙台	16.8	104.2	180.1	15.2	16.2	17.5
石巻	16.0	89.7	192.0	14.3	15.3	16.8
山形	17.7	76.2	196.1	15.8	16.9	18.7
新庄	16.7	96.5	183.1	14.7	15.8	17.7
酒田	17.2	100.3	205.0	15.2	16.3	18.3
福島	18.5	82.2	180.5	16.9	17.9	19.3
若松	17.9	74.6	195.4	15.8	17.0	18.9
白河	16.8	125.9	171.5	15.1	16.2	17.7
小名浜	16.8	125.7	185.5	15.4	16.2	17.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.3	84 ~ 110	95 ~ 109
東北日本海側	-0.4 ~ +0.3	81 ~ 114	96 ~ 108
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.3	83 ~ 109	94 ~ 110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北日本海側	-0.5 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.3
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年5月15日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月16日～6月15日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
平均気温は高い確率が50%です。

1週目(5月16日～5月22日)：

高気圧におおわれておおむね晴れる日が多いですが、期間のはじめと終わりは気圧の谷の影響で曇りや雨の日があるでしょう。

平均気温は高い確率が60%です。

2週目(5月23日～5月29日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

3～4週目(5月30日～6月12日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

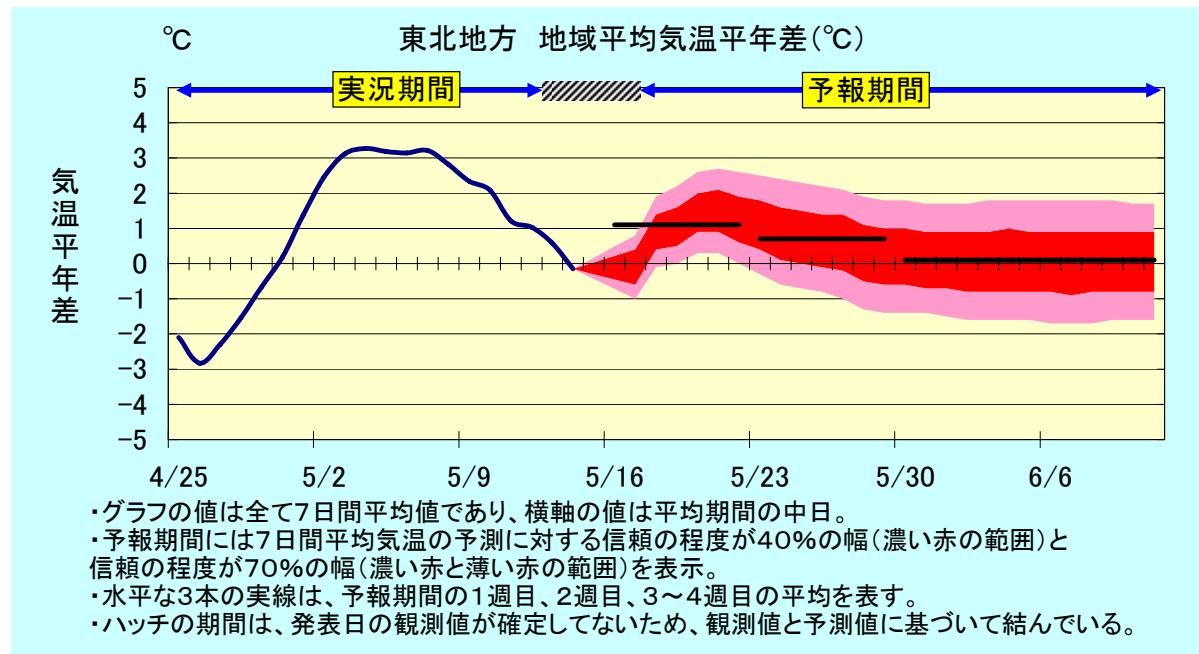
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	15.9日	3.7日	4.4日	7.8日
東北太平洋側	15.0日	3.9日	4.2日	6.9日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年を上回り、3～4週目は平年付近の予想となっている。

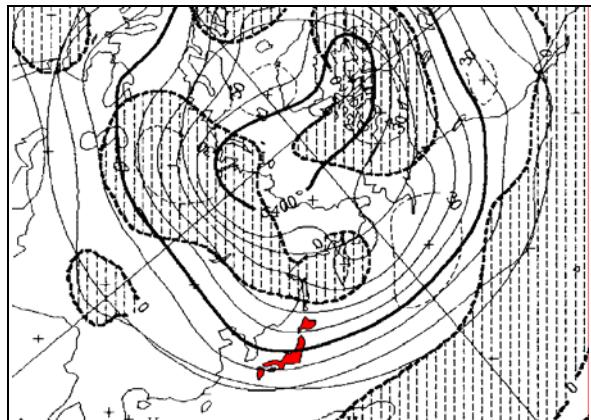


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近を含む中緯度帯は大陸から東海上まで広く正偏差におおわれる。このため、東北地方は高温が予想される。

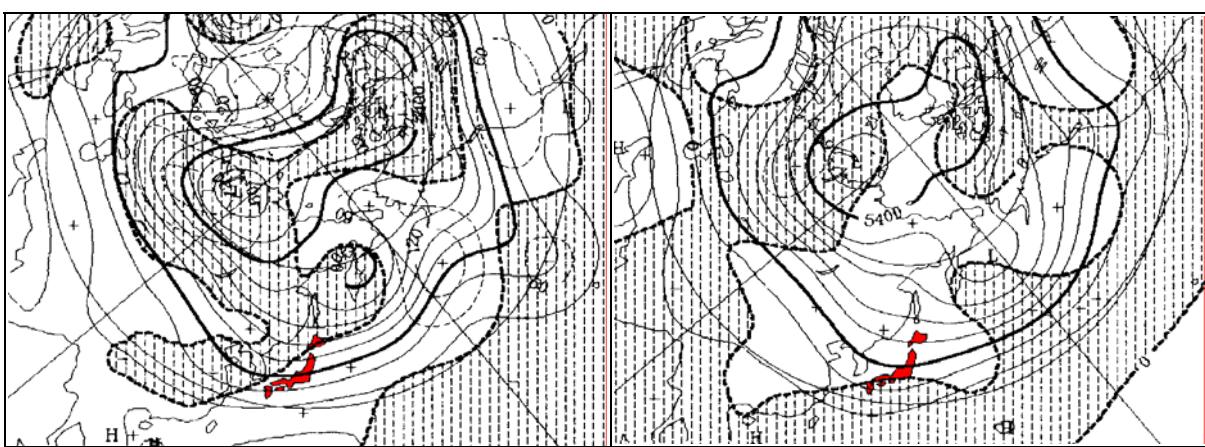
1週目: 日本の南海上には正偏差、オホーツク海から華中付近までは負偏差で、西谷傾向。南からの暖気が流入しやすく高温が予想される。

2週目: 東日本以北は正偏差で、気温は高めが予想されるが、オホーツク海付近の高度が高く、また、日本の南海上は負偏差となるため、東北太平洋側では湿った東よりの風の影響を受ける日もある見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

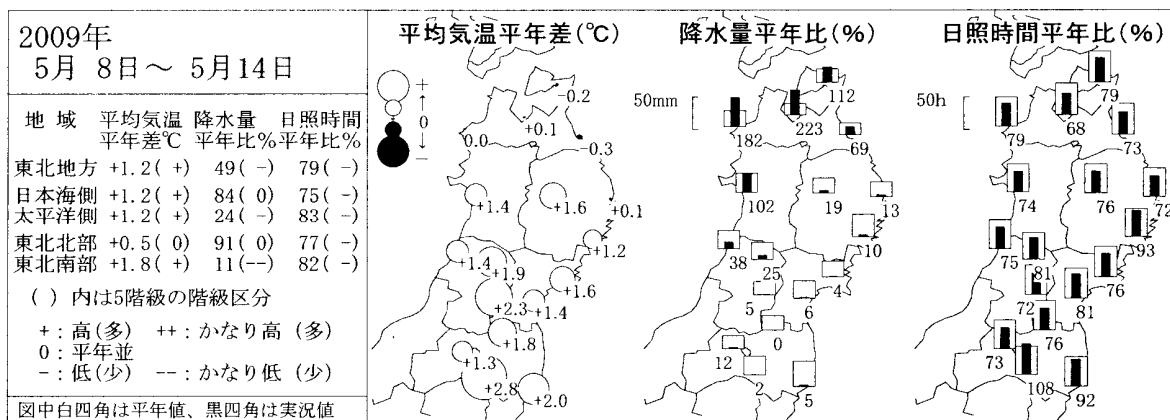
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する

白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (5月8日～5月14日) の天候の経過

この期間、前線や気圧の谷の影響で東北北部を中心に曇りや雨の日が多かった。期間の前半は、日本の南海上で高気圧が強かったため、暖気が流入し、東北南部を中心に高温となつたが、期間の後半は次第に寒気が南下し、14日にはかなりの低温となつたところもあった。また、14日は気圧の谷や寒気の影響により大気の状態が不安定となり、青森県ではひょうを観測し、福島県では突風による被害が発生した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）